

最大の効果を收め得べき路線を選擇し交通幹線に屬する國道の改良と相俟つて交通の完備を期せなければならぬ幸に吾人の期する所に従つて各地方が道路改良を計畫するに至つたならば必ずや更に自動車の利用の増加を招來し其の機能を十分に發揚するを得て我國産業の進展に裨益することと世大であらう。吾人は大なる希望を以て當路に期待する。

産業道路政策の實行に就て

貴族院議員
法學博士

水野鍊太郎

道路は産業の發展に必要な機關であることは、今更事新しく言ふまでもないのである。富源が如何に豊富であつても、之を輸送搬出するところの途が開かれなければ、其の富源は死藏せらるゝのみであつて國家社會に何等の利益をも齎し得るものではない。之を開發して國民の資に供する爲には、其の物資を搬出しなければならぬ。而して之を搬出するには、交通機關に依るの外はない。

故に國家の富源を開發するには、どうしても輸送の機關たる道路の完備に俟たなければならない。又道路が完備すれば其の沿道の文化も進み、資力も發展するのである。若し之を天然の儘に放任して置いたならば、文化は進まず、物資は埋藏せられ、國運の發展は期せられない。

茲に於てか道路の改良問題が國家の國策上最も緊切なることになるのである。殊に近時自動車
の如き高速度の交通機關が發達せる時代に於ては之を有効に利用するには何としても道路の開
發に俟たなければならぬ。

然るに從來我が國に於いては道路が頗る嶮惡であつて、纔に人肩馬背に依つて物資を輸送するの
用に供するに過ぎなかつたのである。之が爲めに産業の發展も亦自から後れて居つたのである。
我が道路改良會は此の趣旨に於いて、道路の改良と産業の發展に意を致し、各方面に亙つて調査研究
を爲し、又其の實行を宣傳し來つたのである。

而して道路の開發を圖るには、相當多額の資金を要することは言ふまでもない。道路改良の必要
は何人も之を認むる所であるが、其の資金の窮乏せるが爲めに今日まで之を實行し得なかつたので
ある。幸に近來國民一般の間に道路改良の必要なることが理解せられて、道路熱の高潮し來つたと
いふことは洵に慶ぶべき現象である。併し之が實現には相當の資金を投じなければならぬので
あるから、道路改良の資源に就ては、吾々は根本的に其の調査を遂げ、具體的方案を立て、之が實行を
期し來つたのである。

從來府縣道に就ては、府縣の費用を以て之が新設改築を爲すことになつて居つたのであるが、府縣費財源の窮乏せるが爲めに、地方に於て府縣道改良の必要を感ずるも、十分なる計畫を樹てることが出来なかつたといふ實況である。故に府縣道中の主要なるものに就ては、どうしても國費より其の補助を爲すの必要がある。曾つて内務省に於いては道路改良費の爲めに公債を發行し、年々一千萬圓を支出して國道並に府縣道等の必要なる道路の改良を全國的に行はんとするの計畫を立て、嘗つては之を實行したのであるが、其の後行政財政の整理の結果此の資源が著しく減額せられて、一時は其の當初の年度割計畫の豫定せる半額すら支出し得ざるの狀況に立至つたのである。

茲に於て我が道路改良會は、斯の如く道路改良費を削減することは産業の發展に支障を與へ、國富開發の上に困難を來すものなりとの意見を以て其の削減に反對し、政府に其の意見を提出したることとも屢々であつたのである。その結果多少其の削減を喰止めることを得たのである。僅に四、五百萬圓の道路改良費を以てしては、全國に亘つて徹底したる道路改良策を實行することの困難なることは言ふまでもない。

然るに今回幸に産業道路として、府縣道中の主要なるものの開發に對する助成の計畫を見ることが出来て、昭和四年度より二百萬圓の國費を支出するの豫算が第五十六議會を通過した。もとより二百萬圓の費額は、全國の道路交通政策より之を見れば極めて少額であつて、所謂九牛の一毛にも足

らないのであるけれども、併し有は無に勝るのであるから之を端緒として將來年を逐うて適當の増額を爲し得ることゝなると思ふ。然れば今回の豫算成立は、産業道路の開發に一時期を劃し得たと謂うても宜しいので、其の費額の少いことは之を遺憾とするけれども、其の計畫の端緒が認められたといふことは、國家の産業政策の上から觀て洵に慶ばねばならぬ事と思ふ。

是れは我が道路改良會が多年唱道し來つた結果の實現を見たのであつて、吾々は此の豫算の成立を見、其の實現を期する上に於て、多年の宿望が達せられたることに對して慶賀の意を表する次第である。

三

斯の如くして産業道路に對する國庫補助の途が開かれたるに就ては、地方の當局者は道路問題に關して適當なる計畫を立て其の費用を有効に使用することに深甚の意を致さなければならぬ。道路の事は地方民に取りては利害關係の最も多き重大問題であるから道路網の計畫を定むるに方つては種々の紛争が起り、而かも黨争の爲めに利用せられる事が往々あるのであるから、今後産業道路の改良計畫を立て之を實行するに當つては、最も公平なる態度を以て事に當ることを要するのである。黨争に利用せられ、黨勢擴張の爲めに道路問題が犠牲に供せられるが如きことゝなつては、道路改良の實行も其の實益を見ることが出來ないのであるから、之に就いては地方當局者は最も深く意を致さなければならぬ。

從來の實例を見ると、動もすれば地方に於ける有力なる政黨員の爲めに制肘せられて、或は不急の工事を起し、無益の道路橋梁を造つたることも尠くないのである。或は縣會議長道路とか、政黨有力者道路とかいふ名稱さへ附せられて、其の一人一黨の利益の爲めに不用なる道路の改修を爲し、産業發展の上から見れば何等の實益なき道路の作られたる例もあるのである。斯の如き事の無いやうにする事の必要なるは特に言ふまでもない。之が爲には或は道路會議といふが如きものを起し、各方面の知識經驗を有する士を網羅して、以て地方の開發若くは經濟事情等に就て慎重なる審議を盡して、道路の使用上に謬りなからしめん事を期することを必要とするのである。

四

故に吾々は單に今回産業道路費が議會を通過し、道路改良の實行の緒に就きたることを慶ぶのみを以て足れりとしないので、寧ろ今後に於ける其の運用の適切にして、眞に地方産業の發展に資する道路交通政策が確立せられんことを望まざるを得ないのである。之に關しては國家の大局より觀て、慎重なる計畫を樹つることを必要とするのである。我が道路改良會は此等の點に就ても更に深甚の考慮を拂ひ、産業道路の適當なる計畫を遂行する上に於て、他山の石として當局者に其の意見を提出せんことを期する次第である。